

# JFEシビル中国支店

## 今期売上高 過去最高50億円へ

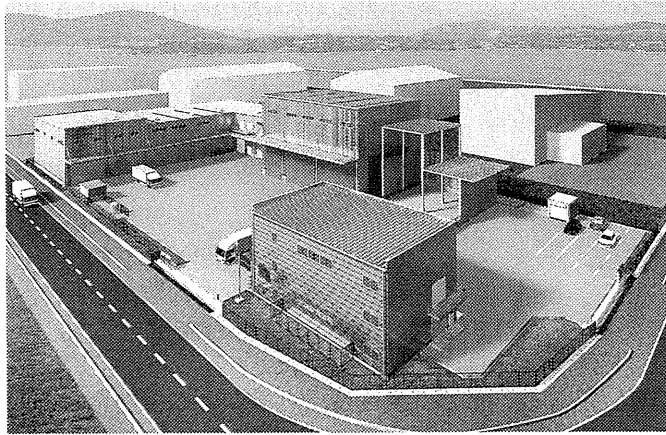
### 前期比3倍 グループ、優良顧客へ拡販

JFEシビル中国支店(岡山県倉敷市阿知3、支店長・八木昭彦氏)は、2017年3月期の売上高が過去最高の50億円となる見通しだ。JFEグループ関連企業からの大型受注や毎年設備投資を執行する優良顧客の確保が進んでいることが背景にある。同支店の平均年間実績は10億〜30億円で推移。今期目標額は前期実績16億円と比較すると3倍以上の数字であり、必達に向けて支店一丸で取り組んでいく。50億円を継続的に売り上げる体制作りを進め、全社での来期売上高1千億円の達成に貢献していく構え。



八木支店長

同支店は倉敷・美観地区近郊に事務所を構える。中国地区のシテム建築は西部営業部が担当し、支店業務は建築事業のみに特化。JFEスチール西日本製鉄所の倉敷・福山両地区の城下町に拠点を置く強みを生かし、JFEグループやその取引先、地元有力企業を重要顧客として抱えて営業活動を継続。就任2年目の八木支店長が先頭に立ち、JFE以外のエンジニアリング



両備テクノカンパニーの倉敷工場完成予想図

会社との協力関係を構築している。直近では、自走式立入エンジン企業からの設備を収納する建物の一式請負を同支店が務めることで実績を積み重ね、駅前に建設される駐車

場整備事業を、公募型プロポーザル方式により倉敷市から受注。延べ床面積4075平方メートル、収容台数140台以上の多段式立体駐車場で、駅前のシンボリックな物件を受注したことで注目を集めたことが、今後の受注活動の好影響につながると見ている。今年度の民需による大型設備投資関連では、地場優良企業の両備ホールディングスのグループ会社である両備テクノカンパニーの倉敷工場新築工事が目玉物件。8月13日に建設地の玉島ハーバーランドで地鎮祭を行い、来年4月の建屋完成に

向けて工事に着手。物件名は「両備ホールディングス(株)両備テクノカンパニー倉敷工場新築工事」で、大型自動車製造・車整備工場を建築する。延べ床面積は約3400平方メートルとなる。

同支店の営業管掌エリアは中四国全域だが、人数的制約もあり岡山・広島が営業活動の中心地。JFEブランドをテコに、年間売上高50億円を安定的に計上できる支店運営を目指しており、今後は山口県方面にも積極的打って出たい考えだ。JFEグループからの受注を軸足にしつつ、八木支店長は「この地域で、S造の特長ある工場や倉庫といった3億円水準以上の設備投資関連の需要を取りこぼすことなく受注につなげていきたい」と意気込んでいる。